

# 調査レポート

## 令和2年12月期景気見通し調査

～2期連続の回復傾向も、予断許さず～

### 調査概要

- 調査時期  
令和2年11月30日(月)～12月8日(火)
- 調査方法  
FAXによる送付、回収 Googleフォームからの回答受付
- 調査対象  
会員小規模事業所406件
- 回答数  
212件 (回答率52.2%)

(D-I値とは…)  
ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「良い」「上昇した」とする割合から「悪い」「下落した」とする割合を差し引いたもの。

| 業種    | R2.9月調査との比較 |       |     |      |      |    |
|-------|-------------|-------|-----|------|------|----|
|       | 業界の景況       | 自社の景況 | 売上高 | 販売価格 | 仕入価格 | 採算 |
| 全業種   | ↑           | ↑     | ↑   | ↓    | ↓    | ↑  |
| 製造業   | ↑           | ↑     | ↑   | ↓    | ↓    | ↑  |
| 建設業   | ↑           | ↑     | ↑   | ↓    | ↓    | ↑  |
| 小売業   | ↓           | ↑     | ↑   | ↓    | ↓    | ↑  |
| 卸売業   | ↑           | ↑     | ↑   | ↓    | ↓    | ↑  |
| サービス業 | ↑           | ↑     | ↑   | ↓    | ↓    | ↑  |

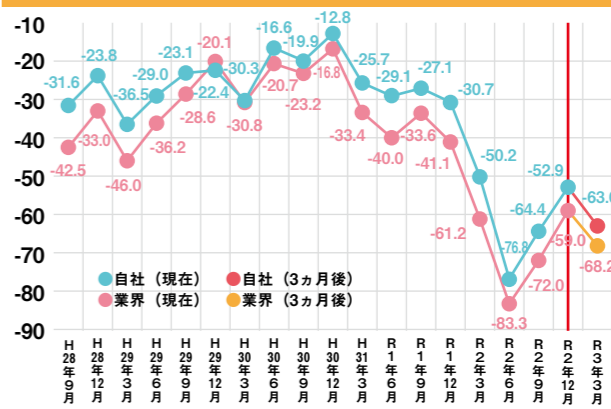
※青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化を表している。

### 業界・自社の景況

業界の景況は、前回調査時(令和2年9月期)の▲72.0から13.0ポイント改善し、▲59.0と2期続けて改

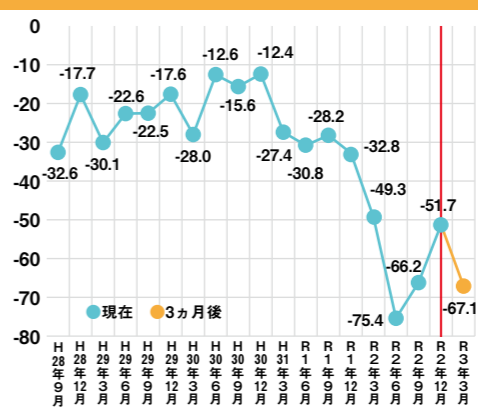
善し、昨年3月調査時の水準まで回復した。一方で、新型コロナウイルスへの警戒感から先行D-I値は▲68.2と9.2ポイントの下落予想となった。

グラフ1 業界・自社の景況



### 採算(収支)

グラフ2 売上高

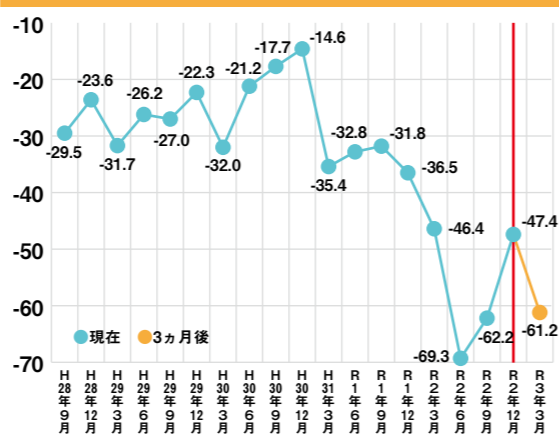


売上高は前回調査時(令和2年9月期)から14.5ポイント回復し▲51.7となった。しかしながら、景況と連動する形で先行D-I値は15.4ポイント下落の予想となり、予断を許さない状況が続く。

採算は前回調査時(令和2年9月期)から14.8ポイント回復し▲47.4となり、新型コロナウイルスの影響が出始めた令和2年3月調査時とほぼ並ぶ数値まで回復した。反面、売上高と連動する形で、先行D-I値は13.8ポイ

ントの減少が見込まれており、引き続き新型コロナウイルスの感染拡大に対する警戒感が強く出た結果となった。

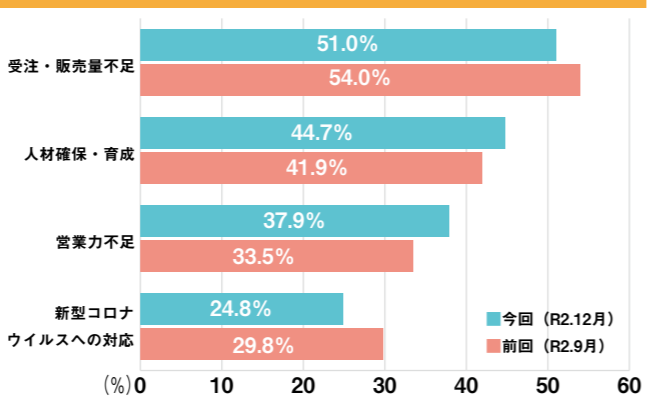
グラフ3 採算(収支)



### 経営上の課題 受注・販売力不足

経営課題(内的要因)では、「受注・販売力不足」が51.0%と最も大きな経営課題であったが、前回調査時(令和2年9月期)に続き2期続けてポイントは下がってきている。一方で、前回調査時に大きくポイントを伸ばした「人材確保・育成」は今回もポイントを伸ばした。業種別に見ると、人手不足感が強い建設業では、前回調査時から引き続き「人材確保・育成」が最大の課題として挙げられ、91.1%と9

グラフ4 経営課題(内的要因)上位4位



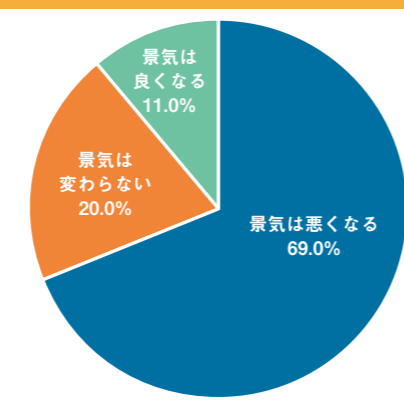
割を超える企業が人手不足に陥っていた。また、サービス業では、「受注・販売力不足」に加え、「新型コロナウイルスへの対応」との回答も多かった。

### 特別調査

「2021年の福井県内における景気予想」

新型コロナウイルスが大きな影響をあたえる中、管内小規模事業者の2021年の福井県内における景気予想について調査した。景気予想では、「景気は悪くなる」との回答が69.0%と最も多かった一方で、「景気は変わらない」との回答は20.0%であり、「景

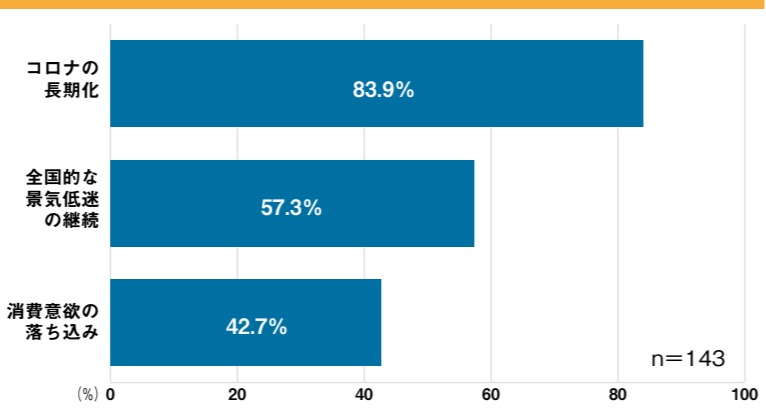
グラフ5 2021年の福井県内における景気予想(全業種)



### コロナ長期化による景気悪化予想

「景気は悪くなる」とした理由では、「コロナの長期化」が83.9%と最も多かった。業種別に見ると、全業種において「コロナの長期化」が共通の理由であるが、卸売業では「消費意欲の落ち込み」建設業とサービス業では「北陸新幹線の工事の遅れ」が他業種と比べ回答比率が高かった。「景気は良くなる」とした理由では、「コロナの収束や反動」が78.3%と最も多い回答となり、「希望的観測」56.5%がこれに続き、景気の好転、悪化はいずれの見通しにおいても「コロナの落ち着き次第」とする結果となった。

グラフ6 景気が悪くなる予想理由 上位3位



### お問合せ

福井商工会議所 金融・税務相談課

0776-33-8284

詳細については QRコードよりご覧ください



回復が進んだことが要因として推察される。

### 売上高(受注高)

売上高は前回調査時(令和2年9月期)から14.5ポイント回復し▲51.7となった。しかしながら、景況と連動する形で先行D-I値は15.4ポイント下落の予想となり、予断を許さない状況が続く。